

2016 年 10 月 3 日

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

理事長 富田 達夫

<IPA 情報発信第 149 号の内容>

I. 今月のトピックス

1. 2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の公募を開始

IPA は、2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の公募を 9 月 30 日 (金) から 2017 年 3 月 3 日 (金) までの期間で開始しました。

2. 偽警告で電話問い合わせへ誘導する手口の相談が月間 200 件に急増 ～被害防止に向けたセルフチェック診断チャートを公開～

“ウイルスに感染した”という偽警告で、電話サポートに誘導するよう仕向ける手口についての相談が急増。そのパターンごとに必要となる対処方法を整理した“セルフチェック診断チャート”を公開しました。

3. IPA 前理事長 藤江一正氏が「情報化促進貢献個人等表彰」経済産業大臣賞を受賞

IPA 前理事長である 藤江 一正 氏 が経済社会の情報化促進に貢献したと認められ、「情報化促進貢献個人等表彰」経済産業大臣賞の受賞者として決定しました。

II. 情報セキュリティ

1. 「CMS を用いたウェブサイト構築における情報セキュリティ対策のポイント」を公開
2. 「ウェブサイトにおける脆弱性検査手法」を公開
3. 重要なセキュリティ情報 (9 月)

III. ソフトウェア高信頼化

1. 「利用時品質検討ワーキング・グループ」を発足
2. 「札幌市役所トップセミナー」にて講演
3. 「ZDNet Japan × TechRepublic Japan 認証セキュリティセミナー」にて講演
4. SEC セミナー開催報告 (9 月) および開催案内 (10 月)

IV. IT 人材の育成

1. 「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2016」を開催
2. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 関東 2016 (甲府)」を開催
3. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 中国 2016 (広島)」を開催
4. 「平成 28 年度秋期情報処理技術者試験」の応募者数について

I. 今月のトピックス

1. 2017年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の公募を開始

(担当理事(本部長): 川浦、担当センター長: 小池)

IPA は、2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の公募を 9 月 30 日(金) から 2017 年 3 月 3 日(金) までの期間で開始しました。

「未踏 IT 人材発掘・育成事業」は、IT 技術を駆使してイノベーションを創出することのできる独創的なアイデア、技術を有するとともに、これらを活用していく能力を有する優れた個人(クリエイター)を発掘・育成することを目的として実施しています。

プロジェクトマネージャーからの指導・助言を受けて、自らが提案するテーマを実現しようとする若い逸材(2017 年 4 月 1 日時点で 25 歳未満の方)からのテーマ提案を募集しています。

また、本事業の公募に関する説明会を 10 月 17 日(月)に IPA 会議室(東京都文京区)で開催します。本事業に関する詳細な説明を行い、応募を目指す方に本事業の理解を深めていただく予定です。

説明会は今後も学校単位で実施する予定です。ご興味をお持ちいただいている方は、是非、ご参加ください。

2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」公募の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2017/koubo_index.html

2017 年度「未踏事業説明会開催のご案内」の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2017/setsumeikai_index.html

2. 偽警告で電話問い合わせへ誘導する手口の相談が月間 200 件に急増 ～被害防止に向けたセルフチェック診断チャートを公開～

(担当理事(本部長補佐): 頓宮、担当センター長: 江口)

IPA は、「今月の呼びかけ」に代わり、本年 6 月 21 日から開始した新コンテンツ「安心相談窓口だより」の最新トピックスとして、“ウイルスに感染した”という偽警告でサポートに電話するように仕向ける手口の被害防止に向けた“セルフチェック診断チャート”を、9 月 29 日(木)に公開しました。

“ウイルスに感染した”という偽警告でサポートに電話するように仕向ける手口に関する相談件数が、8 月には月間 200 件に至りました。寄せられる相談では、相

談者のおかれている状況が一定のパターンに集約されていることから、パターンごとに必要となる対処を整理した“セルフチェック診断チャート”を、「安心相談窓口だより」として公開しました。もし被害にあった場合は、診断チャートを使用することで、現在おかれている状況と対処を簡単に理解することができます。

「安心相談窓口だより」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori/index.html>

3. IPA 前理事長 藤江一正氏が「情報化促進貢献個人等表彰」経済産業大臣賞を受賞 (担当理事(本部長):川浦、担当部長:平林)

経済産業省、総務省、文部科学省、国土交通省では、経済社会の情報化の促進に多大な貢献をなしたと認められる個人・企業等(企業、団体、教育機関等)を大臣等が表彰する「情報化促進貢献個人等表彰」を行っております。

平成 28 年度「情報化促進貢献個人等表彰」において、IPA 前理事長である 藤江 一正氏が、経済社会の情報化促進に貢献したと認められ、経済産業大臣賞を受賞されることが決定しました。

「藤江一正氏が「情報化促進貢献個人等表彰」経済産業大臣賞を受賞」の詳細については、次の URL をご覧ください。

https://www.ipa.go.jp/about/20160920_gekkan.html

II. 情報セキュリティ

1. 「CMS を用いたウェブサイト構築における情報セキュリティ対策のポイント」を公開 ～構築から運用後に至るまで、ウェブサイトの安全維持に必要な項目をチェックリストとして用意～

(担当理事(本部長補佐):頓宮、担当センター長:江口)

IPA は、ウェブサイトへの情報セキュリティインシデントが後を絶たないことを受け、ウェブサイトの構築・運用に用いられる CMS¹(コンテンツマネジメントシステム)に着目し、その脅威と対策、および構築・運用のポイントを解説した“IPA テクニカルウォッチ”「CMS を用いたウェブサイトにおける情報セキュリティ対策のポイント」を、9 月 28 日(水)に公開しました。

本“IPA テクニカルウォッチ”では、主要な CMS⁴ 種類 (WordPress、Movable Type、

¹ CMS(Content Management System):ウェブサイト構築し、コンテンツ(ウェブページ、テキストや画像など)を統合的に管理するシステム。

Drupal、Joomla!) を概説し、さらに CMS を使ったウェブサイト構築・運用のポイントとして、特に注意すべき以下の 4 点を解説しています。

- ・ 情報セキュリティ対策が実施されている CMS の選定
- ・ 適切なアクセス権の設定と確認
- ・ CMS で利用している拡張機能の見直し
- ・ アカウントの適切な管理

「CMS を用いたウェブサイト構築における情報セキュリティ対策のポイント」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/technicalwatch/20160928-1.html>

2. 「ウェブサイトにおける脆弱性検査手法」を公開 ～無償の脆弱性検査ツールの活用で、セキュリティレベルの向上とセキュリティ予算の確保を～

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

IPA は、2013 年に公開した “IPA テクニカルウォッチ” 「ウェブサイトにおける脆弱性検査手法の紹介」を更新し、「ウェブサイトにおける脆弱性検査手法 (ウェブアプリケーション検査編)」として、9 月 28 日 (水) に公開しました。

ウェブサイトの脆弱性が原因で発生した、情報漏えいや悪意あるサイトへの誘導などの被害は組織業種、規模を問わず後を絶ちません。IPA では、こうした相次ぐインシデントは、開発時の集中的なウェブサイトの脆弱性検出と対策の実施が不十分であることが原因と考えています。

本 “IPA テクニカルウォッチ” では、5 種の無償ツールによる検出方法と結果等についての解説や無償ツール活用例を 3 点提案しています。

「ウェブサイトにおける脆弱性検査手法」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/technicalwatch/20160928-2.html>

3. 重要なセキュリティ情報 (9 月)

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

IPA では、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報²」として公開しています。

² 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」… 影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」… 影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では 2013 年 12 月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身の PC やシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

9 月は、「緊急」2 件、「注意」2 件を公開しました。

「重要なセキュリティ情報」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

Ⅲ. ソフトウェア高信頼化

1. 「利用時品質検討ワーキング・グループ」を発足

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、使いやすさ、安全性、信頼性等、利用者の立場から見た IoT 製品やサービスの品質 (「利用時の品質」) の向上を目的に「利用時品質検討ワーキング・グループ」を発足し、その活動内容を 9 月 27 日 (火) に公開しました。本ワーキング・グループでは、「利用時の品質」を向上するために開発時に考慮すべきことをまとめ、「つながる世界の開発指針³」に反映する他、個々の製品に適用可能な具体的な手法は各業界へご提供する予定です。議論の内容は逐次公開していきます。

IPA は、利用者が真に求める安全・快適さを備えた IoT 製品の開発方法の普及を通して、IoT 時代における日本の産業競争力強化に貢献していきます。

「利用時品質検討ワーキング・グループ」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/info/20160927.html>

2. 「札幌市役所トップセミナー」にて講演

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、9 月 7 日 (水) に札幌市役所 (北海道札幌市) で行われた「札幌市役所トップセミナー」にて講演しました。

本セミナーは、札幌市の主催で、札幌市の副市長、各部局長、各区長など 40 名

³ IPA が 2016 年 3 月に公開した、自動車や家電などのさまざまなモノがインターネットを通じて相互に接続する「IoT 社会」におけるセーフティ・セキュリティなどのリスクに対処するための業界横断的な開発指針。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160324.html>

の方を対象に行われました。IPAは、「Safety&Securityの実現はIT総合力が要」、「IT障害情報共有のススメ」の2つのテーマで講演し、行政機関のIT障害対策におけるトップ層、マネジメント層の知識向上と積極的な関与の重要性の啓発と、IT障害対策のための情報共有の有効性と具体的な方法の解説を行いました。

参加者からは「ヒューマンエラーに関する部分など、ひろく自治体一般に通じるテーマをお話しいただき、大いに刺激になった」といったご意見を頂きました。IPAでは、これらのご意見を踏まえて今後も各地域のIT障害対策活動への支援を継続していきます。

3. 「ZDNet Japan × TechRepublic Japan 認証セキュリティセミナー」にて講演 (担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、9月6日(火)にベルサール神保町アネックス(東京都千代田区)で行われた、朝日インタラクティブ株式会社主催の「ZDNet Japan × TechRepublic Japan 認証セキュリティセミナー」にて講演しました。

本セミナーは、ユーザー企業の経営者、CIO(最高情報責任者)、情報システム部門、経営企画部門、事業(ビジネス)部門の方を対象に、IoT時代において重要性の高まる「認証セキュリティ⁴」の最新動向を紹介するものです。IPAは、「「つながる世界の開発指針」を紐解く!~IoT時代の安全安心のために~」というテーマで講演を行いました。

当日は定員を超える約130名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。IPAでは、今後も経営者層を含む企業の方への情報提供・啓発活動を継続していきます。

「ZDNet Japan × TechRepublic Japan 認証セキュリティセミナー」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://japan.zdnet.com/info/event/security/201609/>

4. SECセミナー開催報告(9月)および開催案内(10月)

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向等を紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

9月は、次の日程で実施しました。

- ・「IPA/JEITA 共催セミナー ソフトウェア開発のモデリングの課題と施策~モデリングを成功させるには~」(9月2日)

⁴ 機器やシステムをネットワークに接続する際、接続によるセキュリティ上のリスクの有無を確認し、接続の可否等を判断することによって安全を確保すること。またはそのための技術。

- <http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160902.html>
- ・「形式手法、形式仕様記述入門@大阪～厳密な記述と検証についてのワークショップ～」(9月3日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160903.html>
 - ・「第3回 定量的マネジメントセミナー」(9月5日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160905.html>
 - ・「プロセス改善推進者育成セミナー～プロセス改善概説と改善ツール体験～」(9月6日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160906.html>
 - ・「非機能要求の明確化に基づく、災害にも安心なITサービス継続のためのシステム基盤の構築～「非機能要求グレード」・「高回復カシステム基盤導入ガイド」の解説～」(9月7日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160907.html>
 - ・「「非機能要求グレード」実践セミナー～システム基盤の非機能要件定義を講義と演習で身につける～」(9月12日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160912.html>
 - ・「IoTセキュリティの実現に向けて～IoT時代のリスク対策に役立つ3つの指針・ガイドラインの紹介～」(9月16日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160916.html>
 - ・「事例から学ぶITサービスの高信頼化へのアプローチ【第2回】～システム障害事例分析から導出した教訓共有のすすめ(演習付)～」(9月27日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160927.html>
- 10月は、次の日程で開催を予定しています。
- ・「IPA・QUEST・FITCO IoT共催セミナーin九州 ～IoTで築く九州デジタルイノベーション～」(10月3日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161003.html>
 - ・「共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～」(10月19日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161019.html>
 - ・「IoT時代のセキュリティ設計のポイント～これからのセーフティはセキュリティ設計で守る～」(10月21日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161021.html>
 - ・「はじめてのSTAMP/STPA～システム理論に基づく新しい安全性解析手法～」(10月21日)
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161021-02.html>
 - ・「【SEC特別セミナー】東京開催 IoT時代に向けたシステム開発における課題と備え～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～」(10月24日)

日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161024.html>

- ・「【SEC 特別セミナー】大阪開催 IoT 時代に向けたシステム開発における課題と備え～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～」(10月26日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161026.html>

- ・「SPEAKーIPA 準アセッサ育成セミナー (Basic) ～プロセス・アセスメント研修(ベーシック)～」(10月27日～10月28日(2日間コース))

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161027-28.html>

IV. IT 人材の育成

1. 「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2016」を開催

(担当理事(本部長): 川浦、担当センター長: 小池)

IPA は、セキュリティ・キャンプ九州実施協議会、国立大学法人九州大学サイバーセキュリティセンター、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2016」を9月16日(金)から19日(月)までの4日間開催しました。

福岡県でのセキュリティ・キャンプ地方大会の開催は4回目で、一般講座と専門講座の2講座を実施しました(一般講座参加者120名、専門講座参加者24名)。

一般講座では、IPA 講師から、スマートフォン利用時の注意点と対策を中心とした一般向けの啓発講演等が行われました。

専門講座では、Web アプリケーションを題材に、起こり得る脅威と対策に関する講義等が行われました。

「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2016」の詳細については、次の URL をご覧ください。

https://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2016/minicamp2016_kyusyu.html

2. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 関東 2016 (甲府)」を開催

(担当理事(本部長): 川浦、担当センター長: 小池)

IPA は、国立大学法人山梨大学、特定非営利活動法人山梨 ICT&コンタクト支援センター、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・ミニキャンプ in 関東 2016 (甲府)」を9月17日(土)から18日(日)までの2日間開催しました。

山梨県でのセキュリティ・キャンプ地方大会の開催は初めてで、一般講座と専門講座の2講座を実施しました（一般講座参加者103名、専門講座参加者23名）。

一般講座では、IPA講師から、「情報セキュリティ10大脅威2016」を題材とした一般向けの啓発講演等が行われました。

専門講座では、通信の仕組みを理解するため、パケットを題材とした実習等の講義が行われました。

「セキュリティ・ミニキャンプ in 関東2016（甲府）」の詳細については、次のURLをご覧ください。

https://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2016/minicamp2016_kantou.html

3. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 中国2016（広島）」を開催

（担当理事（本部長）：川浦、担当センター長：小池）

IPAは、HiBiS（広島インターネットビジネスソサイエティ）、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・ミニキャンプ in 中国2016（広島）」を9月23日（金）から25日（日）までの3日間開催しました。

広島県でのセキュリティ・キャンプ地方大会の開催は初めてで、一般講座と専門講座の2講座を実施しました（一般講座参加者87名、専門講座参加者25名）。

一般講座では、IPA講師から、スマートフォン利用時の注意点と対策を中心とした一般向けの啓発講演等が行われました。

専門講座では、標的型攻撃やランサムウェア等の身近な脅威を題材とした講義等が行われました。

「セキュリティ・ミニキャンプ in 中国2016（広島）」の詳細については、次のURLをご覧ください。

https://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2016/minicamp2016_chugoku.html

4. 「平成28年度秋期情報処理技術者試験」の応募者数について

（担当理事（本部長）：川浦、担当センター長：高橋）

IPAは、「平成28年度秋期情報処理技術者試験（所管：経済産業省、10月16日（日）実施）」の応募者数を9月8日（木）に公表しました。

「平成28年度秋期情報処理技術者試験」の応募者数は、前年同期比115.3%の220,826人⁵（平成28年度から開始した情報セキュリティマネジメント試験を除く

⁵ 平成28年度春期情報処理技術者試験 一部試験地での試験中止の措置として、振替で受験する4,598人を含む
http://www.jitec.ipa.go.jp/1_00topic/topic_20160509.html

と 198,640 人（前年同期比 103.7%）となりました。

試験区分別の応募者数は、情報セキュリティマネジメント試験が 22,186 人、基本情報技術者試験が 75,095 人（前年同期比：102.6%）、応用情報技術者試験が 52,845 人（前年同期比：104.4%）、高度試験が 70,700 人（前年同期比：104.3%）です。

各試験区分の応募者数は以下のとおりです。

	応募者数	前年同期 応募者数	前年同期比
総数	220,826	191,596	115.3%
情報セキュリティマネジメント試験	22,186	-	-
基本情報技術者試験	75,095	73,221	102.6%
応用情報技術者試験	52,845	50,594	104.4%
高度試験	70,700	67,781	104.3%
IT ストラテジスト試験	6,676	6,663	100.2%
システムアーキテクト試験	8,157	8,181	99.7%
ネットワークスペシャリスト試験	18,096	18,990	95.3%
情報セキュリティスペシャリスト試験	32,492	28,274	114.9%
IT サービスマネージャ試験	5,279	5,673	93.1%

「平成 28 年度秋期情報処理技術者試験」応募者数の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.jitec.ipa.go.jp/1_07toukei/_index_toukei.html

問合せ先 独立行政法人情報処理推進機構
戦略企画部 企画・調査G 笛木・野村
〒113-6591
東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号
文京グリーンコートセンターオフィス
TEL : 03-5978-7503
E-mail : spd-plan@ipa.go.jp